

みんなのしあわせ

主な内容

- 福寿のつとめ 2～5P
- 第53回水戸市社会福祉大会 8P
- みと社協NEWS 6～7P
- ボランティアセンターだより 10P



赤い羽根共同募金

～皆さまの優しさで支えられています～



10月1日から赤い羽根共同募金が全国一斉に始まりました。今年も音声アナウンスによる呼びかけ、赤い羽根は非接触型でお渡しするなど新型コロナウイルス感染症対策をとりながら街頭募金を行いました。今年も多くのおみなさんが足を止めてご協力くださいました。一人ひとりの募金が大きな力となります。

ボランティアに参加した小学生は、「困っている人たちにこのお金が役立てられると思うとやりがいがあります！うれしい気持ちになります！」と笑顔で話していました。

今年も皆さまのご協力ありがとうございます。



ピアニストの語りと演奏に感動もひとしお(吉田地区)

福 寿 の つ ど い

～出会い ふれあい ささえあい 感謝とともに～

9月19日(月)は、敬老の日。「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」と国民の祝日に関する法律で定められています。水戸市では、各地区で今年度から敬老会が生まれ変わり新規事業「福寿のつどい」が開催されました。従来の敬老会の趣旨を継承しつつ、対象年齢を限定し水戸市内34小学校区毎に開催することで更なる地域づくりのための敬労・幸齢行事^{*}として実施しました。式典では、たくさんの方々から長寿のお祝いのお言葉を頂き、様々なアトラクションで会場を盛り上げ、温かい雰囲気のつどいとなりました。

※敬労・幸齢行事…感謝と労いの気持ちをお伝えし、幸せな年齢をお祝いすること

再会のひととき

9月10日～1月22日にかけて、各地区で行われる「福寿のつどい」。久しぶりに同級生や知り合いと再会し、「元気だった?」「またお茶でも飲みにおいで」と何気ない会話でもそこには笑顔があふれていました。

「福寿のつどい」とは

「敬老の日」が制定された昭和41年の平均寿命は、男性68・4歳、女性73・6歳でしたが、令和3年には、男性81・47歳、女性87・57歳と13歳余りも伸びています。そのような背景もあり、招待対象者の急激な増加などから、対象年齢を限定した会となりました。75歳(ちいきルークー)は、地域活動参加へのきっかけにしてもいい、80歳(ちいきエース)は、更なる地域活動の一員としての活躍に期待を込めています。85歳(ちいきマスター)は、今後も地域での活躍の期待と同時に、これまでの活動に対する感謝と敬意を表します。90歳以上(ちいきレジェンド)は、感謝と敬意を表すとともに、長寿をお祝いします。

「福寿のつどい」3つのポイント



出会い（社会参画）

地域貢献に目を向けていただき、地域活動に参加する機会になればと思います。



ふれあい（コミュニケーション）

何気ない会話から生まれるコミュニケーション。地域交流の活発化につなげます。



ささえあい（見守り）

地域での顔の見える関係、声掛けが日常化する関係性をつくります。

「福寿のつどい」の対象者は…

○今までの敬老会は、75歳以上の方が対象でしたが、「福寿のつどい」は、75歳、80歳、85歳、90歳以上の方で、当該年度に該当年齢に達する方（学校教育法に定める同一学年単位）



- 1 杉崎芸能保存会のみなさんによる迫力ある太鼓の披露(妻里地区)
- 2 久しぶりに知り合いの方との再会に会話が弾む(浜田地区)
- 3 新型コロナウイルスの感染対策を講じて実施(寿地区)
- 4 水戸地区防犯協会による詐欺防止の寸劇の披露(吉田地区)
- 5 金沢はるみさんによる圧巻の歌に参加者もうっとり(上中妻地区)

社協の行う全ての事業は、地域福祉を推進させることを目指しています。「福寿のつどい」は、対象者の日常的な助け合い・支えあい活動に繋げるため、各地域で顔を合わせて行うことにこだわりました。

「福寿のつどい」に込められた想い

「福寿のつどい」の「福」は、自分が持っている力とまわりの力を合わせて創り出す「しあわせ・さいわい」を意味します。「寿」は、おめでたいこと長く生えることのほかに、福を招き入れるといった意味もあり、実際に集まって、ともに生きる喜びを分かち合い、感謝と敬意を表すことができるように想いを込めました。また、サブタイトルに「出会い ふれあい ささえあい 感謝」とともに「社会参画（出会い）」「コミュニケーション（ふれあい）」「見守り（ささえあい）」の3つのキーワード実現への「期待」と長年にわたってご尽力いただいたことへの「感謝と敬意」を表現しています。

それぞれの地区が想う「福寿のつどい」

コロナ禍の開催となった「福寿のつどい」——。「どのような催し物なら喜んでもらえるだろうか」「どのような出会いの場にしたら良いだろうか」など、各地区の主催者の「福寿のつどい」にかける想いに迫ります。

双葉台地区



双葉台支部
支部長 菊池 好男 さん

地域参画を目指して

「今回の福寿のつどいをきっかけに地域の活動に参加してほしいんですよ」そんな想いを話してくれたのは、双葉台支部の菊池支部長。双葉台地区で活動している地域団体が、積極的に参画できる機会を作れたら、実現できるのではないかと。この想いの実現に向けて、「福寿のつどい」では、カラオケ・健康体操・サロン活動を行っている団体に依頼し、催し物の運営を各団体にお願ひしました。

参加型への転換

これまでの「敬老会」は、主催者側が企画した催し物を提供していましたが、今

年は、参加者のニーズに合わせて会場を分散して行うといった、新たな試みでした。複数の部屋で同時に行うため、各部屋をオンラインで繋ぎ、一体感を保つ工夫を凝らしました。

新しい試みの手応え

「オンラインで会場を繋いだけれど、役員にパソコンができる人が少なかったため、来年以降は、パソコン技術の向上も力を入れた」と反省する場面もありました。しかし、「様々なニーズに応えるために分散化し、出席者が自分の意思で選択できたことは良かった」と初めての試みに確実な手応えを感じていました。



オセロをみんなで見守ります



懐かしい歌を熱唱！



健康体操ですます元気

オセロゲームでドキドキ・ワクワク

参加者の声

サロンプールには、折り紙などが用意され、いろいろ選択できるよう準備してあり、盛況でした。

私は懐かしいオセロゲームに挑戦。久しく忘れていたドキドキ・ワクワク感を味わい、楽しい時を過ごしました。

このような企画をしてくださった皆様、ありがとうございました。
(福永幸子さん)

笑顔広がるカラオケブース

主催者の声

カラオケブースは、艶歌カラオケクラブが担当しました。

懐かしい曲をタンバリン・鈴を味方に歌い始めると、出席者全員に笑顔が広がり、豊かな時間を過ごしました。

歌うことで心が揺さぶられ、笑顔が広がります。横の繋がりが増え、皆さんに出会えたことに感謝しています。

(赤上澄江さん)

国田地区

国田ならではの雰囲気

国田地区の「福寿のつどい」は、アットホームな雰囲気の中行われました。参加者の皆さんは、顔見知りの方が多いため、グループごとに分かれて茶話会を楽しんでいる、そんな様子でした。

「今回お会いした方と次におうのが5年後。だからこそ、これまでの活躍に感謝し、これからますます地域で活躍してほしい…そんな願いを込めて開催しました」そう話すのは、国田支部の折笠支部長です。

子どもたちの活躍

準備にあたっては、国田義務教育学校の生徒の皆さんに



国田支部
支部長 折笠 慶子 さん

依頼してクイズ大会の問題を一緒に考えました。当日も受付、案内、クイズ大会の司会と大活躍。また、学校生活をビデオで映して、普段の様子を伝えると、参加者の皆さんは、目を細めて嬉しそうな様子が伺えました。

次も元気で会うために

「次を楽しみにしています」とたくさんの参加者からありました。「感謝と支えあい」を軸に次も元気で会うために、健康維持の意欲につながるような福寿のつどいにしたいです。それが私たちの役割だと思います」と意気込みを話してくれました。



運営のお手伝い頑張りました



景品当たり！



みんなで乾杯

参加者の声

また参加するのが楽しみです

会場に入った時に国田義務教育学校の生徒の皆さんが席まで案内してくれて、その優しさが嬉しかったです。また、生徒の皆さんの司会で地元になんだクイズやじゃんけんゲームで盛り上がり、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

私は、他の地域から国田に移り住みましたが、そんな私にも優しく接してくれる皆さんがいて、「この地で年を重ねるのも捨てたもんじゃない」と思いました。長生きして、また「福寿のつどい」に出席するのを楽しみにしています。



海老根 啓子 さん



第53回水戸市社会福祉大会

10月31日（月）、水戸プラザホテルにおいて「第53回水戸市社会福祉大会」を開催しました。

顕彰の部では、地域福祉の推進に尽力された方や福祉活動に励まれた方など、個人112名と8団体へ、表彰状、感謝状、褒状をお渡ししました。

また、講演の部では、日本ケアラー連盟代表理事の堀越栄子様「家族をケアする子どもたち～ヤングケアラーの実態と必要な支援～」と題して、ご講演いただきました。参加者からは、「なかなか聴くことのできないテーマの講演で大変ためになった」と感想をいただきました。（関連記事：8ページ）

いきいきミニ美術展

いきいき交流センター常澄では、10月4日（火）～10月15日（土）まで「いきいきミニ美術展」を開催しました。陶芸やちぎり絵など利用者40名70点の作品が出展されました。

開催中は、合計112名の方にお越しいただき、「コロナ禍でこのようなイベントがあると、気分転換になる」など多くの感想をいただきました。



長寿を祝う食事会

開江老人ホームでは、9月16日（金）に「敬老の日」にちなんで、ささやかながら長寿を祝う食事会を行いました。お赤飯や刺身の盛り合わせなど豪華なメニュー、そして、ささやかなお祝いとして、タオルなどの日用品を贈りました。

また、食事で敷いた職員手作りのランチョンマットは、利用者の方に大人気で持ち帰る方が多かったです。





結婚50年をお祝いして

11月22日(火)、水戸プラザホテルにおいて金婚祝賀会を開催しました。結婚50年をお祝いしてご夫妻の記念写真と式典・アトラクションが行われました。今年は、150組のご夫妻が参加されました。

式典では、多くの来賓の皆さまからご夫妻へのお祝いのお言葉をいただくとともに、アトラクションでは、NPO法人ポルターモによる四季折々の歌声がご夫妻の歩みを祝福しました。記念写真の撮影は、「お父さん顔が固いですよー」「いい笑顔ですね」と和やかな雰囲気の中行われました。

参加されたご夫妻は、「素晴らしい式に招待していただき、感謝しています。健康に気をつけてこれからも頑張っていきたいです」と話されていました。

ボランティアまつり in ミオス

10月16日(日)、水戸市福祉ボランティア会館で「第21回ボランティアまつりinミオス」が開催されました。新型コロナウイルス等の影響で4年ぶりの開催です。

各ボランティア団体による活動紹介や車いす等の体験コーナーなど、会館はボランティア一色になりました。

この日は、mitoこどもボランティア隊が「輪投げ」と「くじ引き」のゲームコーナーを担当するとともに、地元の大学生が係員に加わるなど次世代のボランティアたちが会場を盛り上げてくれました。



第53回水戸市社会福祉大会

水戸市内で福祉の向上に功績のあった方々を顕彰し、「福祉のまち水戸」の実現を目指す、第53回水戸市社会福祉大会を、昨年よりも会場を広くし、新型コロナウイルス対策を徹底しながら開催しました。

水戸市社会福祉協議会は、顕彰された方々をはじめとした福祉向上のためにご尽力されている皆さまとともに、地域の中で支え合う地域づくりの取り組みを、今後なお一層進めてまいります。

—顕彰受賞者のご紹介—（敬称略）

表彰状

○多年にわたり民生委員・児童委員・主任児童委員として地域福祉の推進に貢献（67名）

市毛知子 伊藤進央 小貫英雄 小沼貞雄 滑川みどり 笹島隆治 久信田喜一 長谷川泰子 荻津倫平
田中貴子 君島登美子 大内恵子 平井まり子 齋藤智一郎 品川雅夫 小川和子 田村和久 天野政幸
畔野寿子 庄司清美 伊藤健司 富岡比登美 三橋義幸 内桶敏子 石橋恭子 松本節美 石橋道子
山口和枝 茂垣克子 齊藤幸子 仲澤守一 益子不二夫 根本由美子 塙京子 三廻玲子 岡崎和子
小林紀子 荒川純郎 緑川博子 高野鈴子 大枝春男 加倉井とし子 和田由樹 神白常子 薮喜代子
北山由貴子 間瀬幸夫 安藏秀彦 駒ヶ嶺洋子 小峯幹夫 中井川均 田谷真由美 小坪厚 川名浩子
宮田幸一 蘭部典正 谷津米壽 潮田裕子 大嶋二三雄 大森ますみ 多田久寿 和田清一 内谷由喜子
友部悦子 幸田泰子 江幡和子 飯田ふみ子

○多年にわたり社会福祉団体役員として会の運営発展に貢献（6名）

菊地榮一 上田昇 橋本康一 小林一夫 岩間勝利 吉田潤一

○自立した生活が他の模範と認められる障害者手帳保持者（3名）

根本岬 小沼敏行 金井弥生子

○多年にわたりボランティア活動を通して地域福祉の推進に貢献（2団体・5名）

水戸おもちゃクリニック 水戸地区防犯連絡員協議会石川分会
斉藤恵美子 桐原宣幸 石川弘容 澤幡泰 蓼沼礼敬

○多年にわたり社協関係役員等として会の運営及び地域福祉の推進に貢献（19名）

川崎操 野坂康子 宮永清子 砂押恵久子 永井つねよ 友部知子 友部悦子 倉川勝 後藤知道
畔野寿子 小坪厚 塩谷文則 伊藤輝子 清水幸子 伊藤進央 寺門正廣 和田清一 松本節美
沢畑清子

○心配ごと相談員として地域福祉の推進に貢献（3名）

小峯幹夫 高野鈴子 飯村博子

感謝状

○社協、福祉施設・団体に協力共助し社会福祉の増進に貢献（6団体・18名） ※内1名は活動内容が複数

財団法人茨城新聞文化福祉事業団 真如苑水戸支部 水戸ヤクルト販売(株)
公益社団法人水戸法人会女性部会 水戸遊技場組合 ASA上水戸見和栗原新聞舗
中川裕子 須釜英雄 塩谷文則 小田倉康家 大野光一 内藤政子 飯島賢史 杉田政善

褒状

○ねたきり・認知症高齢者、障害者（児）の介護者（1名）

猿田康子

みなさまのご芳志ありがとうございました

ご寄付は福祉施設等に有効に活用させていただきました。

水戸市社会福祉協議会 令和4年8月～10月受付分(敬称略・順不同)

寄付金(社会福祉事業に)

井本剛司/川又敬子/黒滝三男/佐藤元基/みんなで歌おうカラオケ
交流会/コミュニティカラオケ福祉団体「納豆の会」/川又力/他
匿名3件 (令和4年度累計額 3,123,555円)

〈寄付金をいただきました〉

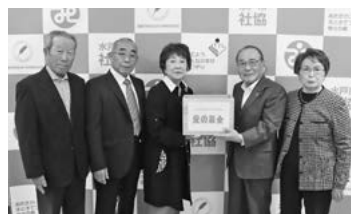


コミュニティカラオケ福祉団体「納豆の会」様

使用済み切手・プリペイドカード類・物品等

水戸更生保護女性会/(株)匠建築研究室/水戸市シルバーリハビリ体操
指導士の会見川支部/(株)三浦商店/(株)カワスミ/混声合唱団コール
水戸/水戸市母子寡婦福祉会/たまり場かねた/合歓の会/サークル・
点心/(株)ロングライフ/(有)カネミツ商会/グループホームお母さん
の家/ボーイスカウト水戸第4団/布の花/(株)フジクリーン茨城/
(株)めぶきリース/水戸市保健総務課/水戸市シルバー人材センター
手芸サークル/ASA上水戸見和栗原新聞舗/COOK ぼーの/
アクティブボランティアみと/茨城大学教育学部附属小学校5年1組/
水戸保護観察所社会貢献活動係/ミュージックベル28[♪]響(ひびき)[♪]/
(有)小島工業所/野菊の会/みどり幼稚園父母の会/水戸市子育て
支援課/すみれ第二保育園/(株)富士住建水戸ショールーム/(株)マルハン
赤塚店/中妻地区土地改良区/園芸ボランティア「花hana」/
茨城県電気工事業工業組合/水戸ヤクルト販売(株)/城東女性会/
水戸市社会福祉協議会緑岡支部/水戸おもちゃクリニック/朗読
ボランティア「コスモス」/介護用品のスマイル(株)日本ドライ/
サテライト水戸/吉沢学区子ども会育成連合会/松崎保元法律事務所/
ときわふれあいでんわの会/水戸杉崎郵便局/水戸市シルバーリハビリ
体操指導士の会南部第一支部/川村和雄/市川由里子/柳澤麻沙美/
坂場和美/園部美喜子/八田和美/黒滝三男/平澤百合子/大森史夫/
鈴木芳江/伊藤恒子/石坂猛次/川井禮子/西内譲/浅川とみえ/
脇坂明/小柳万里子/堀江効/池田洋子/岡田さかえ/富田貢/
雑賀大介/飯野善夫/田口三智子

〈寄付金をいただきました〉



みんなで歌おうカラオケ交流会様

〈食品をいただきました〉



(株)マルハン様

〈ヤクルトをいただきました〉



水戸ヤクルト販売(株)様

編集後記

ようやく新型コロナウイルスも第7波が収束へ向かいつつある現状です。このため、中止・延期されていた花火大会等色々な行事が、自粛解除になり街の賑わいを取り戻しつつあるのは良いことです。「高齢者いきいき健康マージャン交流大会(ねんりんピック代表選考会)」も3年ぶりに行われ、今回は水戸市開催となり、県内各地からの参加者で盛り上がりしました。健康マージャンは楽しく・仲良く・心豊かにをモットーにしており、認知症予防にもなると高齢者から人気もあり会員が増えている状況です。

1年は早いものでもう師走です。これから厳しい冬を迎えて新型コロナウイルスの第8波(オミクロン株)インフルエンザの同時流行も懸念される状況ですので、気を緩めず体をいたわり、健康で明るい新年を迎えましょう。来年もよろしくお願いいたします。(栗原 裕忠 記)

編集発行 水戸市社会福祉協議会広報紙編集委員会
社会福祉法人水戸市社会福祉協議会
〒311-4141 水戸市赤塚 1-1
(水戸市福祉ボランティア会館内)
TEL 029-309-5001
FAX 029-309-5525
URL <https://www.mito-syakyo.or.jp>
E-mail syakyo@mito-syakyo.or.jp





(シンボルマークと標語)

ボランティアセンター だより

問 合 せ ・ 申 込 み 等

水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒311-4141 水戸市赤塚1-1(水戸市福祉ボランティア会館内)
TEL 029-309-1011 FAX 029-309-1139
<https://www.mito-syakyo.or.jp>
月曜日～金曜日 9:30～16:30



奉仕の芽 ふやそうのばそう 地域から

本修理ボランティア体験講座を行いました



9月8日(木)、水戸市福祉ボランティア会館にて、「本修理ボランティア体験講座」を開催しました。市内図書館で「図書修理ボランティア」として活動されている講師の指導のもと、受講者16名は、ご自身で持ってきた本や図書館で除籍となった本などを利用して、ページ破れやページの抜け落ちした本の基本的な修理の仕方を学びました。

皆さん熱心に取り組み、コツを掴んだ方は、講座の終わる頃には複数冊修理されていました。受講者からは「初めての作業だったが丁寧に指導してくださったので楽しくできました」「身近なものでも修理ができることがわかった」などの感想が聞かれました。

また、29日(木)には、フォローアップ講座を開催し、背外れの修理やブックフィルム貼り修理方法を学びました。現在は、講座受講者による懇談会を開催するなど、ボランティアサークル立ち上げに向けて準備を進めています。



集めています！皆さまのご協力をお願いします。

集めているもの



使用済み※または未使用切手

※台紙からはがす必要はありません。

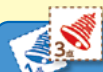


レトルト食品・缶詰・米など

(賞味期限2ヶ月以上のもの)



タオル・綿シーツ



ベルマーク



使用済みインクカートリッジ

どのように活用される？

県社会福祉協議会を介して専門業者や愛好家に買い取ってもらい、県内でのボランティア活動支援の財源として活用されます。

経済的な問題や家庭の問題などで生活が困窮し、十分な食事をとることができない方(世帯)への支援に活用されます。

障害者施設などにおいて介護用ウエスなどとして活用されます。

ボランティアサークルが整理・集計した後、市内の小学校へ届けられ、教材や備品購入のために活用されます。

リサイクル企業に買い取ってもらい、市内の地域福祉やボランティア活動支援の財源として活用されます。

この他にも、生活用品(洗剤、紙オムツ、未使用衣類等)なども受け付けています。ただし、状態によっては受付できないものもございますので、まずはご相談ください。